

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	安全計画小委員会		主 査 名：土屋 伸一 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)		委員長名：菊地 成朋 主 査 名：西出 和彦
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2014 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	活動計画：「超高層建築物の全館避難に対する安全計画」 ・2012 年度：地震，火災，津波等の災害を対象に、階段移動に関する既往研究，文献を収集し、対象災害の絞込みとその事象における階段移動上の問題点や課題を整理 ・2013 年度：火災と津波災害を対象に、安全な階段移動のあり方を検討。また、活動成果をとりまとめ、シンポジウムを開催。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：あり		
	・土屋伸一 (明野設備研究所)：主査 ・水落秀木 (清水建設)：幹事 ・北嶋秀明 (ETRA 環境技術研究所) ・桑名秀明 (鹿島建設 技術研究所) ・林 広明 (大成建設) ・古川容子 (日本建築センター評定部)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2012 年度予算	185,000 円	ホームページ公開の有無：有り (ただし近年未更新) 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/keikakusub/s6/	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 火災時の全館避難では、群集の混雑度、移動速度及び心理的要因などを考慮した避難時間以外の指標が必要であり、安全な全館避難のあり方を検討することが決まった。 2. 津波避難ビル到着後の階上移動の方法、誘導方法及び災害時要援護者への配慮など、安全な階上移動等のあり方を検討することが決まった。
委員会活動の問題点・課題	出席率が極めて悪い時が数回あり、作業分担の方法、欠席時の資料提出など、出席率の向上及び活発な議論のための工夫を考える必要がある。